

パソコンとつないで使う

必要なシステム構成

- IBM PC/AT*1およびその互換機
 - CPU：266MHz以上のPentium IIプロセッサ*2もしくは同等の性能を有するプロセッサー
 - RAM容量：64MB以上
 - ハードディスクの空き容量：5MB以上(音声データの扱い量に比例してそれ以上の空き容量が必要です。)
 - USBポート
 - サウンドボード：Sound Blaster 16互換
 - ディスプレイ：ハイカラー（16ビットカラー)以上、800×480ドット以上
- 対応OS：Microsoft® Windows® XP Media Center Edition 2005、Windows® XP Media Center Edition 2004、Windows® XP Professional、Windows® XP Home Edition、Windows® 2000 Professional、Windows® Millennium Edition、Windows® 98 Second Edition標準インストール*3（日本語版）
- Windows Media Player：Ver. 6.4以上(お使いのパソコンがWindows Media Playerの必要なシステム構成(動作環境)を満たしている必要があります。)

*1 IBM、PC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。

*2 PentiumはIntel Corporationの登録商標です。

*3 Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

■パソコンとつなぐ

- ドライバをインストールする** (Windows 2000 ProfessionalとWindows 98 Second Editionの場合のみ)。本機のUSBキャブをはずし、パソコンのUSB端子につなぎ、付属のCD-ROMからドライバをインストールしてください。ドライバをインストールするには、エクスプローラでCD-ROMドライブを開き「JAPAN」－「UDriver_JP」をダブルクリックし、表示されるインストール画面の指示に従ってください。

- パソコンで用件を再生するために必要なプラグインをパソコンにインストールする**。エクスプローラでCD-ROMのドライブを開き「JAPAN」－「PlayerToolSetup_JP」をダブルクリックすると、Windows Media Player用のプラグインのインストール画面が表示されます。画面の指示に従ってインストールしてください。

☆ヒント

- Windows 2000 Professional/Windows 98 Second Edition用ドライバと、再生用プラグインは、本体のメモリ内にも収録されています。
- 本機はUSBマストレージデバイスとしてもご利用になれます。

!ご注意

OPRランプがオレンジに点灯、点滅中は本機とパソコンが通信中です。通信中は本機をパソコンから抜かないでください。

お使いのパソコンに本機を直接接続できない場合は
専用USB接続補助ケーブルPC-U001を補修部品としてご用意しています。詳しくは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口へお問い合わせください。また、USBロゴのついたUSB/ハブでもご利用になれます。

■MP3ファイルを本機で再生する

- パソコン内のMP3ファイルを本機の **♪**(MUSIC)フォルダ内にドラッグアンドドロップする。2階層、最大300個のフォルダが作れます。各階層および **♪**フォルダの直下には合計999個のMP3ファイルを入れることができます。

- 本機の **□** / **MENU** を押して「**♪**」を選ぶ。

- コントロールキー**を**◀◀**または**▶▶**方向に押し**て再生したいファイルを選び、▶▶**を押す。選んだ曲の再生が始まります。

- 再生を止めるにはSTOP**を押す。

MP3ファイルの記録可能時間*	
ICD-U60	
ビットレート	ファイルの記録可能時間
256kbs	約4時間20分
128kbps	約8時間40分
48kbps	約23時間10分
ICD-U70	
ビットレート	ファイルの記録可能時間
256kbs	約8時間40分
128kbps	約17時間25分
48kbps	約46時間30分

- * 本機に収録されている「Player Tool for Windows Media Player」、Windows® 2000 Professional、Windows® 98 Second Edition用ドライバ、語学学習用教材を消去したときの記録時間
- 本機にMP3ファイル以外のファイルが入っている場合、記録可能時間が変化します。

!ご注意

- A～EフォルダにMP3ファイルをコピーしても本機では認識、再生できません。
- DPC入/切スイッチを「ON」にした場合は音質が変わりモノラル再生になります。
- MP3ファイルの再生では、再生中断後のスタート位置に多少の誤差が発生する場合があります。

再生モードを選ぶ

メニュー「MUSIC PL MODE>」で、再生モードを選びます（「設定」参照）。

■用件をパソコンで再生する

- 本機のフォルダからパソコンにコピーしたい**用件(ファイル)**をドラッグアンドドロップする。

- パソコンで**ファイル**を**ダブルクリック**して再生する。

パソコンから本機に用件をコピーする

- パソコンのフォルダから本機のA～Eフォルダのいずれかにコピーしたい用件(ファイル)をドラッグアンドドロップする。

!ご注意

♪(MUSIC)フォルダに用件(ファイル)をコピーしても本機では認識、再生できません。

設定

■設定メニューの操作方法

- / **MENU**を**長押し**してメニューモードに入る。

- コントロールキー**を**左右方向に押し**て項目を選び、**▶▶**を押して決定する。

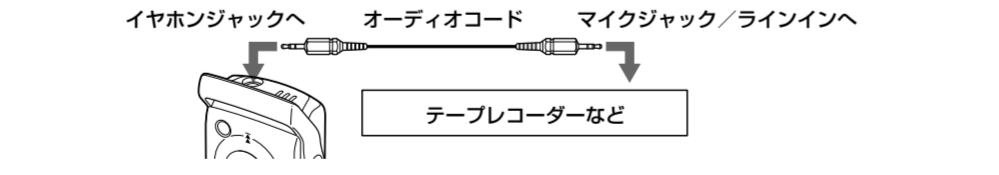
- STOP**を押してメニューモードを終了する。

メニュー一覧	
メニュー	設定項目(*:初期設定)
REC MODE:HQ	録音モードを設定します。 <p>HQ*：音質を重視する大切な録音。 SP：通常の録音。 LP：音質を重視しない簡易な録音。</p>
MIC SENS:H	マイクの感度を設定します。 <p>H*：小さな音を大きくするとともに、全体の録音レベルを最適化することでバランスのとれた録音を実現します。広い会議室での録音など、遠くの音や小さい音を録音するときに使用します。 L：口述録音など、マイクを口元に近づけて録音したり、近くの音や大きい音を録音するときに使用します。</p>
DISPLAY>	表示モードを設定します。(それぞれ再生時/停止時/録音時に表示される項目です) <p>COUNTER*：1用件の経過時間/1用件の経過時間/録音経過時間 REMAIN：1用件の残り時間/残り録音可能時間/残り録音可能時間 REC DATE：録音年月日/録音年月日/現在年月日 REC TIME：録音時刻/録音時刻/現在時刻</p>
VOR:OFF	デジタルVORを設定します。 <p>ON：ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると録音が止まります。REC/PAUSEボタンを押して、録音を始めると、「VOR」機能が働きます。音が小さくなり録音が自動的に一時停止すると、「VOR PAUSE」が点滅します。 OFF*：VOR機能は働きません。</p>
DPC:0%	DPCスイッチを「ON」にした場合、再生速度の通常の約2倍(+100%)から半分(−50%)までの範囲で設定します。+設定(FAST PLAY)が表示)では「+10」刻みで、−設定(SLOW PLAY)が表示)では「−5」刻みで設定されます。
VOICE PL MODE>	用件フォルダの再生モードを設定します。 <p>1 FILE PLAY*：ひとつの用件の再生が終わると、次の用件ののはじめで停止します。 1 FILE REPEAT：ひとつの用件を繰り返し再生します。 CONTINUED PLAY：ひとつのフォルダ内の用件を連続して再生します。</p>
!ご注意	♪ フォルダを選択中は「VOICE PL MODE>」を表示しません。
MUSIC PL MODE>	MP3ファイルの再生モードを設定します。 <p>1 FILE PLAY：ひとつのファイルの再生が終わると、次のファイルのはじめで停止します。 1 FILE REPEAT：ひとつのファイルを繰り返し再生します。 CONTINUED PLAY*：ひとつのフォルダ内のファイルを連続して再生します。 ALL REPEAT：フォルダ内の全ファイルを繰り返し再生します。 SHUFFLE：フォルダ内の全ファイル順不同に繰り返し再生します。</p>
!ご注意	A～Eフォルダを選択中は「MUSIC PL MODE>」を表示しません。
FORMAT>	フラッシュメモリー内のデータを初期化します。
!ご注意	初期化するときはパソコンではなく本機でおこなってください。
DATE & TIME>	時計を設定します。(06Y11M1D*)
BEEP:ON	確認音を設定します。 <p>ON*：操作時の受け付け確認音およびエラーのピー音音が鳴ります。 OFF：操作時の受け付け確認音やエラー音が鳴りません。</p>
LED:ON	OPRランプの点灯、消灯を設定します。 <p>ON*：動作中はOPRランプが点灯または点滅します。 OFF：動作中もOPRランプは点灯しません。</p>
!ご注意	USB接続時は設定にかかわらず点滅します。
BACK LIGHT:ON	バックライトの点灯、消灯を設定します。 <p>ON*：バックライトが点灯します。 OFF：動作中もバックライトは点灯しません。</p>
ERASE ALL MSG>	選んだフォルダの中身をすべて消去します。
ERASE A MSG>	1件消去します。

他の機器と接続して使う

■本機の音声を他の機器で録音する

本機のイヤホンジャックを他の機器のマイクジャック/ラインインにつなぎます。



お使いになれるオーディオコード(別売)

マイクジャックを使って接続するときは、次の抵抗入りオーディオコードをお使いください。

	ICレコーダー側	接続先機器側
RK-G135	ステレオミニプラグ(抵抗入り)	ミニプラグ(モノラル)(抵抗入り)
RK-G134	ステレオミニプラグ(抵抗入り)	ステレオミニプラグ(抵抗入り)

ラインインを使って接続するときは、次の抵抗なしオーディオコードをお使いください。

	ICレコーダー側	接続先機器側
RK-G139	ステレオミニプラグ(抵抗なし)	ミニプラグ(モノラル)(抵抗なし)
RK-G136	ステレオミニプラグ(抵抗なし)	ステレオミニプラグ(抵抗なし)

■使用上のご注意

ノイズについて

- 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中に本機に手などが当たったり、こすったりすると、雑音が発音されることがあります。

ご使用場所について

・運転中のご使用は危険ですのでおやめください。

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
 - 温度が非常に高いところ(60℃以上)。
 - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
 - 窓を閉めさせた自動車内(特に夏期)。
 - 風呂場など湿気の多いところ。
 - ほこりの多いところ。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

お手入れ

本体表面が汚れたときは

水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

<ul style="list-style-type: none">本製品の不具合により、録音ができなかった場合、および録音内容が破損または消去された場合、録音内容の補償についてはご容赦ください。 本製品を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。 お客様が録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

<ul style="list-style-type: none">本製品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ http://www.sony.co.jp/SonyDrive/
<p>バックアップのおすすめ</p> <p>万一の誤消去や、ICレコーダーの故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ず予備として、コンピューターなどに保存してください。</p>

■故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度下記項目をチェックしてみてください。それでも解決しない場合、ご不明な点は、パーソナルオーディオ・カスタマーサポートページをご覧ください。お客様ご相談センターまでお問い合わせください。なお、修理に出すと、録音した内容が消えることがあります。ご了承ください。

操作ボタンを押しても動作しない。

- 乾電池のΦと⊖の向きが正しくない。
- 乾電池が消耗している。
- ホルドスイッチが入っている。(ボタンを押すと「HOLD」表示が3回点滅します。)

スピーカーから音が出ない。

- イヤレシーバーが差し込まれている。
- 音量が絞られている。

「MEMORY FULL」や「MESSAGE FULL」が点滅し、録音できない。

- メモリーがいっぱいになっている。
 - 不要用件を消去する。
- フォルダ内に99件録音されている。
 - 不要な用件を消去する。

雑音が入る。

- 録音したとき、本機をこすってしまう、雑音が発音された。
- 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- イヤレシーバーで聞いているとき、イヤレシーバーのプラグが汚れている。
 - プラグをきれいにクリーニングする。

録音レベルが小さい。

- メニューのマイク感度設定が「MIC SENS:L」(低感度)になっている。
 - メニューのマイク感度設定を「MIC SENS:H」(高感度)に切り換える。

録音が途中で止まる。

- デジタルVORが作動している。VORを使用しないときは、メニューのVORを「VOR:OFF」にする。

時計表示が「--:--」になる。

- 時計を合わせていない。

別売アクセサリー	ニッケル水素電池専用急速充電器 BCG-34HRE / 充電式ニッケル水素電池単4形NH-AAA-2BE / オーディオコードRK-G134/G135 (抵抗入り)、RK-G136/G139 (抵抗なし) / アクティブスピーカー SRS-T88
----------	---

本機はFraunhofer IIS及びThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。

本機はWindows 98 Second Edition/Windows Millennium Editionでの動作を確認しておりますが、マイクロソフト社のサポートが終了したことにより、OSに起因した問題などのサポートが行えなくなりました。今後アップグレードプログラムの提供など、従来どおりのサポートができない場合があります。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

<ul style="list-style-type: none">本製品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

<p>お問い合わせ窓口のご案内</p> <p>本機についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。</p> <ul style="list-style-type: none">ホームページで調べるには→パーソナルオーディオ・カスタマーサポートへ (http://www.sony.co.jp/support-pa/) ICレコーダーに関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内するホームページです。 電話・FAXでのお問い合わせは→お客様ご相談センターへ(下記電話・FAX番号) <ul style="list-style-type: none">本機の商品カテゴリは「ICレコーダー」→「ICレコーダー」です。 お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。 <ul style="list-style-type: none">型名：ICD-U60/ICD-U70 シリアルナンバー：電池ボックス内 ご相談内容：できるだけ詳しく お買い上げ年月日

<p>商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ</p> <ul style="list-style-type: none">http://www.sony.co.jp/SonyDrive/
<p>お客様ご相談センター</p> <ul style="list-style-type: none">ナビダイヤル……………☎0570-00-3311 (全国どこからでも国内通話料でご利用いただけます) 携帯電話・PHSでのご利用は→03-5448-3311 (ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください) FAX……………0466-31-2595 <p><small>受付時間：月～金 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00 お電話は自動音声応答にてお受けしています。</small></p> <p>ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1</p>

^[1] 本機のフォルダからパソコンにコピーしたい用件(ファイル)をドラッグアンドドロップする。

^[2] パソコンでファイルをダブルクリックして再生する。